

【お願い】

上部消化管および大腸内視鏡検査における 抗凝固薬・抗血小板薬の休薬について

平素より当検査センターに格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、上部消化管内視鏡および大腸内視鏡検査時に必要に応じて生検をする場合があります。つきましては、下記の薬剤を御処方の場合、可能であれば検査前後に一定期間内服を中止していただければ幸いと存じます。

なお、休薬困難と判断される場合には、その旨を検査依頼書にご記入ください。また、ご不明な点などございましたら、お問合せください※。

御協力のほどよろしくお願いいたします。

	代表薬剤	検査前休薬	検査後再開予定
A	ワーファリン	3～4 日間($INR \leq 1.5$)	翌日から
B	バイアスピリン、バファリン 81	3 日間	3 日後から
C	パナルジン、チクピロン	5 日間	3 日後から
D	B と C との併用時	7 日間	3 日後から
E	エパデール	5 日間	3 日後から
F	ケタス	5 日間	3 日後から
G	プレタール	5 日間	3 日後から
H	コメリアン	5 日間	3 日後から
I	サアミオン	5 日間	3 日後から
J	セロクラール	5 日間	3 日後から
K	ペルサンチン、アンギナール	5 日間	3 日後から
L	プロサイリン、ドルナー	5 日間	3 日後から
M	オパルモン、プロレナール	5 日間	3 日後から
N	アンプラーグ	5 日間	3 日後から
O	ロコルナール	5 日間	3 日後から

(参考文献)『消化器内視鏡ガイドライン第3版』『内視鏡治療時の抗凝固薬・抗血小板薬に関する指針』

※お問合せ先

健康管理・増進センター ☎082-243-2451